

令和元年 11 月 2 日

学びの広場

京都市教育委員会 教員養成支援室



第14期京都教師塾 入塾式

第14期京都教師塾には225名が入塾し、10月19日に行った入塾式には174名、23日に行った補講には39名の塾生が参加しました。緊張しながらもこれから頑張っていこうという意気込みが伝わり、今後の成長が楽しみになってきました。



心の中には不安や迷いもたくさんあることと思います。しかし、皆さんは一步前に踏み出しました。9ヶ月後には、より成長した自分自身に出会えるように、学びを積み重ねていきましょう。



補講による入塾式

第1回京都市教育学講座 荒瀬 克己 指導部顧問 「教師に求めるもの ～京都教師塾開講にあたって～」

午後からは初めての講座です。京都教師塾開講にあたって、教育の本質となる部分のお話をしてくださいました。「高大接続改革」が進められています、高等学校・大学のみならず、それまでの幼稚園・小学校・中学校を含む連続した学びを意識することが大切だと強くおっしゃっていました。また、「資質とは何か」「学力とは何か」等、ふだんよく使われている言葉の意味を改めて考えることの大切さを伝えてくださいました。そして、最後に「問うことで、主語が変わる。『子ども』を主語に。」というメッセージをいただきました。



初めての分散会では、「これからの時代、教師としての使命を果たすために大事にしたいことは？」をテーマに話し合いを進めました。貧困や格差、少子高齢化といった課題が山積するこれからの時代に生きる子ども達のために、教師として何を大事にしていきたいかについて話し合い、全体交流を行いました。レポート集には、「自分にはなかった意見がたくさん出てとても勉強になった」「視野が広がった」「ますます頑張ろうという気持ちになった」等、初めて分散会を経験したことに対する感想も書かれていました。

まだまだ不安もあることと思いますが、素晴らしいグループアドバイザーの先生、同じ志をもつ心強い仲間と一緒に考え続けていきましょう。

7組





このコーナーでは、「レポート集」に綴られた
すばらしい学びの1ページを紹介します。
ぜひ、仲間の学びにふれてみてください。

第1回京都市教育学講座【講義】

「教師に求めるもの～京都教師塾開講にあたって～」を受講して

① 全体会

全体会では、問いを立てることの大切さについて学びました。「問い」は、教師として児童・生徒に投げかけたり、また、児童・生徒と共に学習の内容から作り上げたりすることが可能です。他にも、既存知識を思い返した時に、「どうして?」といった疑問を持ち、問いを立てることや、情報をただ単に受け取るだけでなく、その裏に潜む情報を探し、たどることによって、新たな問いが生まれてくることも考えられます。どれも自分自身や児童・生徒の学びを深めることにつながり、知識を体系化して自分たちの中に落とし込むことができ、また新たな問いや学びへのつながりを作ってくれる大切なものであると考えました。

② 分散会

分散会では、教師として大事にしたいこととして、児童・生徒の可能性や将来性について考えました。児童・生徒個々の持つ、先天的、後天的な資質・能力というものを、表情を観察するなど、日々の関わりを通して考えること、またその観察から得られた自分の思いや考えを、自分の中だけで留めておくのではなく、周りの先生方と意見交流を行うことを通して、様々な視点やアプローチの仕方を知り、学び、活用していく。そしてまた改善していくことが大切であると考えました。課題としては、「知識」「技術」「経験」といった根本的部分もそうですが、まずは「自分」というものについての良さや能力等をしっかり理解することも必要であると考えました。

③ まとめ

今後、スクールサポーターとして働く際に、先生方の「問い」の立て方や児童・生徒の見取りの工夫等を学んだり、また自分に合ったアプローチの仕方や観察した際の考え方の交流をしたりして、「子ども理解」の仕方を深く学ばせていただきたいと思います。

～塾生のレポート集より～

子ども一人一人に、その生きてきた年齢分の人生があります。子どもに寄り添うということは、一人一人の子どもをリスペクトし、有りのままの子どもをまず受け入れることです。「どうして分からないの!」と子どもに対して言う大人がいますが、どうして分からないのかを考え、分かるために何ができるかを考えるのが大人であり、学校では教師です。主体的な教育活動も、「教師が介入しすぎない」というよりは、「どのように介入するか」ということを考えることが大切だと思います。

～レポートへのコメントより～

1組



4組



8組



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「子どもと共に育む京都市民章」を実践しよう!

